

米子市立山陰歴史館

# 歴史館だより

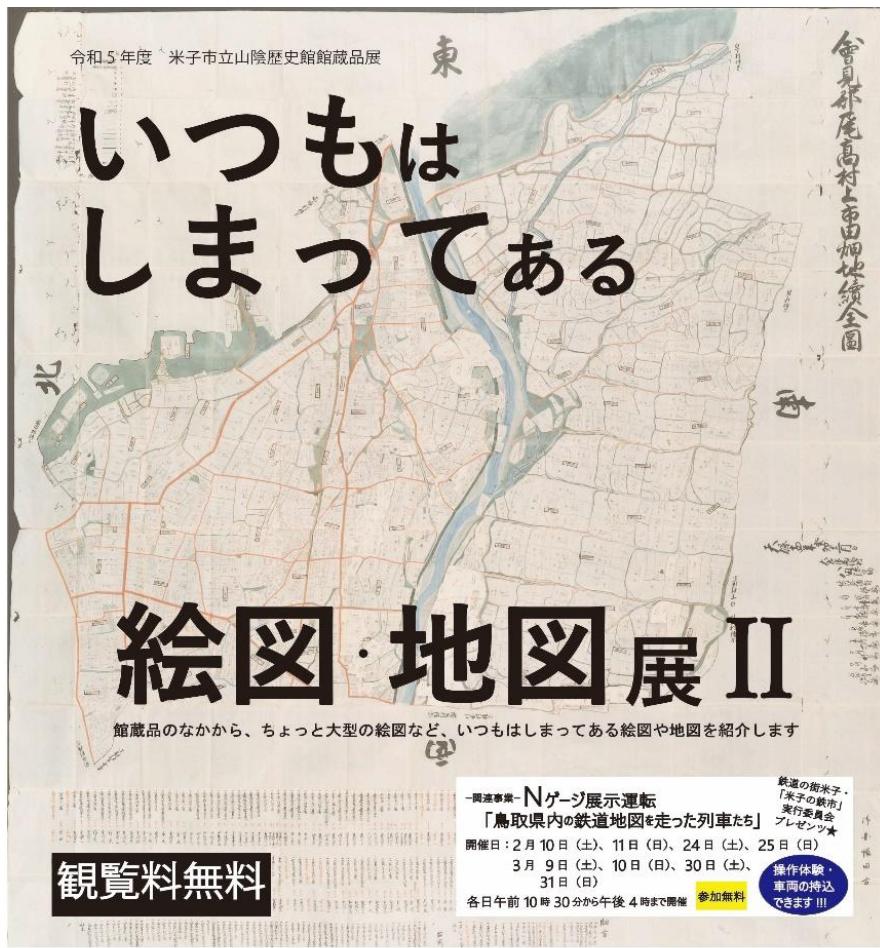
2024. 1. 15 vo. 7



歴史館のマスコットキャラクター  
れきくん しーちゃん かんくん

## 館蔵品展「いつもはしまってある絵図・地図」

収蔵庫にしまっている館蔵品の絵図・地図を紹介します。



令和6年

会期：2月10日(土)～3月31日(日)

〈毎週火曜日休館〉

開館時間：午前9時半～午後6時(最終入館は午後5時半まで)

会場：米子市立山陰歴史館 1階第1展示室

主催：米子市・米子市教育委員会・一般財団法人米子市文化財団・米子市立山陰歴史館

●お問合せ先：米子市立山陰歴史館

〒683-0822

鳥取県米子市中町20番地 ☎(0859) 22-7161

●交通アクセス  
□JR米子駅より徒歩20分  
□米子駅前バス停ミナルから各方面行のバス  
「米子市役所前」下車すぐ  
□米子空港よりタクシー約20分  
□山陰道米子南ICより市街方面へ約10分  
※米子市役所駐車場をご利用ください。  
駐車券を受付へ提示していただきすると、  
2時間まで無料になります。

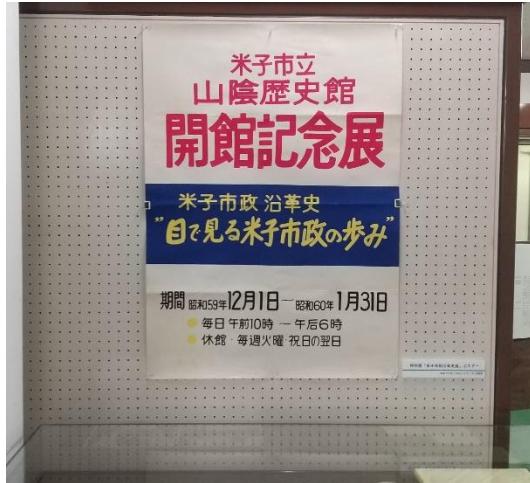
## 企画展 「山陰歴史館の記憶」展 報告

### — 山陰歴史館復活開館 70 年の記憶 —

令和 5 年 11 月 19 日(日)～令和 6 年 1 月 21 日(日)

山陰歴史館は、昭和 15 年(1940)に米子市西町にあった商品陳列所の二階で開館しました。昭和 20 年(1945)に戦局の悪化で閉鎖しました。終戦後の昭和 28 年(1953)に米子城二の丸跡に移築された「旧小原家長屋門」にて復活開館しました。昭和 59 年(1984)には、米子市役所旧館に移転し現在に至り、今年で 70 年を迎えました。

展示内容は、歴史館の前身の山陰歴史館関係の石馬関係の資料、昭和 15 年の開館関係のポスターや展示説明書、米子市役所旧館の建築設計図、棟札など約百年間を振り返る展示でした。また「時代行列」の写真展示も懐かしそうに観覧されていた姿がありました。



市役所旧館移転開館記念展ポスター

## 第 50 回「郷土の歴史教室」報告



今年度の歴史教室は、夏の暑さを避けて冬休みの 12 月 27 日に行ないました。年末にもかかわらず、定員の 40 名の申し込みがあり計画どおり実施することができました。

JR 西日本後藤車両所運用検修センターの協力を得て、米子駅構内の扇形車両庫の見学を行いました。転車台の実演やディーゼル車の見学など楽しい体験をさせていただきました。

午後からは、あおや和紙工房まで出かけ、和紙造りの学習と和紙作り体験を行いました。子どもたちは思い想いの和紙葉書を作成して持ち帰りました。

## 展 示 · 収 藏 品 紹 介

## 2階 展示室 弓浜絹

江戸時代に米川用水が改削されて開発が進み、綿作が盛んになりました。そのため藍染の木綿布や紺は農作業着や普段着として愛用されました。また、栽培された綿は大坂へ輸出され鳥取藩の貴重な収入源でした。2階展示室では、弓浜紺関係の綿作関係の水桶等の農機具、糸紡ぎや織機などの道具、弓浜紺の普段着や寝具などを展示しています。白い綿が糸に紡がれ藍で染められ、機で織られて紺の着物になっていく様子が解ります。



2階展示室「米子市の人々伝IV」— 西田税と国家改造 —

昭和 11 年(1936)2 月 26 日に国家改造を志した青年将校たちが起こした 2・26 事件の首謀者の一人とされた西田税と、当時の社会情勢を展示し紹介しています。西田は米子の博労町で生まれ、啓成尋常小学校から広島陸軍地方幼年学校へ進み、首席で卒業し、陸軍士官学校予科へ進学。満州の 4 騎兵第 27 連隊の士官候補生・騎兵上等兵に就任、帰国後、陸士本科へ復学しましたが、病気を理由に依願予備役となり、国家革新運動に邁進しました。

当時、世界的な不景気で、失業者が増え、農村は疲弊貧困となり、政党、財閥、軍閥への不満がうずまいていました。忠君愛国精神の青年将校運動の中、北一輝の国家主義思想の影響を受けた西田は、その運動の思想的柱となりました。

青年将校たちが起こした2・26の決起は失敗に終わり、事件後、首謀者として15名の青年将校、北一輝らとともに西田も刑死し、その生涯を閉じました。

事件の後、日本は軍の力が強くなり、日中戦争、アジア太平洋戦争へと突入していきます。西田税は博労町法城寺の墓に葬られています。



## 2.26 新聞号外

西田 稅

## 米子の精華会メンバー

会期 令和6年1月17日（水）～4月15日（月）

## 令和 5 年度の主な展示・行事

事業名	内容・入館料・入館者数	開催日又は実施期間
常設展 米子城展、昔の暮らし展 鉄道のまち米子の歴史展、 昭和の学校、弓浜絢展	国史跡米子城跡、鉄道資料、民俗資料、昭和の学校などの歴史をとおして、人々の暮らしの様子を紹介しています。 観覧無料	通年・隨時展示替
ミニ企画展 米子の人物展IV 「西田税と国家改造運動」	昭和 11 年 2 月 26 日に起った 2・26 事件の首謀者の一人として処刑された、米子出身の西田税の軌跡を紹介する。観覧無料	令和 6 年 1 月 17 日 (水)～ 4 月 15 日(月)
企画展 山陰線全通 90 年記念 「レツツゴー山陰本線 —日本で一番長い在来線—」	昭和 8 年(1933)に山陰本線が、京都～幡生間全線開通して 90 年を迎えることを記念し、山陰本線沿線の駅の歴史や観光地を、写真やパンフレット、駅弁包み紙など関連資料を展示し紹介。 観覧料 300 円 (終了しました)	9 月 16 日(土)～ 11 月 5 日(日)
企画展 山陰歴史館復活開館 70 年記念 「山陰歴史館の記憶」	昭和 28 年(1953)に山陰歴史館が旧小原家長屋門で戦後の復活開館を迎え 70 年になる。同年の湊山球場開場などの他、近年の湊山周辺の変遷、ならびに米子城跡について紹介。 観覧料 300 円	11 月 19 日(日)～ 令和 6 年 1 月 21 日(日)
館蔵品展 「何時もは しまってある 絵図・地図展 II」	収蔵庫にしまってある館蔵品の中から、絵図・地図資料を選んで紹介します。 観覧料無料	令和 6 年 2 月 10 日 (土)～ 3 月 31 日(日)

### 米子市立山陰歴史館



〒683-0822 鳥取県米子市中町 20 番地

電話/0859-22-7161 fax/ 0859-22-7160

<http://yonagobunka.net/rekishi/>

E-mail: saninrekishikan@dear.net.jp [編集: 小原]